

# Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 29 号 (2021 年 10 月 6 日発行)

秋晴れの続く過ごしやすい季節となりました。全日本ミドル・ロング大会を楽しみにしている方も多いかと思いますが、引き続き体調管理をお願いいたします。

今号は健全な組織運営を行う上で重要な情報がございますので、最後までお読み下さるようよろしくお願い申し上げます。

## ●本号の内容

- ・MTB-0 世界大会に向けて
- ・相談・通報窓口の設置について
- ・研修会について
- ・ガバナンスコード審査について
- ・新コーチ制度養成講習会開催
- ・新運営資格について
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ

## ●MTB-0 世界大会に向けて (MTB-0 委員会：加納)

2021 年 10 月 7 日～10 日にかけて、ポルトガルで開催される、MTB0 マスターズ世界選手権大会と欧州選手権大会兼ワールドカップに、日本から代表選手を派遣します。

今回は、M5 5 クラスに羽鳥和重選手、M1 7 クラスに綾野尋選手を派遣することになりました。選手は 10 月 2 日に渡航し、現地にて直前トレーニングの後、大会に臨みます。

新型コロナウイルス流行の影響により、渡航前後の準備などに通常と違った特別な対応が必要で、出場選手を含め、チームメイト全体で選手派遣にむけて動いているところです。

大会の開催されるヨーロッパでは、移動制限も緩和されつつあり、今回のマスターズ、ワールドカップの出場選手層もコロナ流行前とほぼ変わりません。各国の強豪選手が集う大会となっています。ポルトガルの大会はシンプルでタフなコースが組まれる傾向があり、登攀力で勝負できる日本選手にとっては得意な展開になりそうです。

昨年は残念ながら、国際大会に出場できなかった MTB0Japan チームですが、その間も練習量を増やし、質をより高めて準備し続けてきた日本選手の活躍が期待されます。応援よろしく申し上げます。

大会 Website : <https://mtbo2021.fpo.pt/>

昨年、今年とコロナの影響で MTB、シクロクロスの公式戦などの中止や延期が続き、フィジカルな実戦練習の機会が減りもしましたが、MTB0 の練習は途切れることなく、ほぼ毎週のペースでトレーニング、練習会を続けてきています。

参加者層も拡がり、オリエンテーリングからはもちろん、MTB、シクロクロス、アドベンチャーレース、トライアスロンなど、多種多様な競技から参加者が集い、つながりが増えてきました。

練習会や活動の案内は、MTB0Japan の FaceBook ページで公開しています。どなたでも参加できます。興味のある方はぜひのぞいてみてください。

<https://www.facebook.com/groups/mtbojapan>

## ●相談・通報窓口の設置について (副会長：愛場)

JOA では、ホームページに「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」のバナーを設けました。トップページ下端の「その他関連サイトバナー」の中にあります。

<http://www.orienteering.or.jp/consultingforviolentbehavior/>

このページのタイトルは暴力行為等となっておりますが、いわゆるハラスメントだけではなく、選手等に対する不当な取り扱いや組織役員による不正行為などについても、その通報窓口として事務局が対応します。そしてその内容に応じて、危機管理・コンプライアンス委員会を始めとした関連する委員会などで対応を審議することになります。またこの通報・相談をすることによって通報者・相談者に不利益が生じることはありません。ただし、個別の競技会での失格判定や運営上のトラブルなどに関する疑義を受け付ける部門ではありませんので、その点はご了解ください。この窓口はその利用がないことが理想ですが、万一看過できない事例などがありましたらご連絡頂ければと思います。

#### ●研修会について（副会長：愛場）

JOA では今年度より「コンプライアンスに関わる研修」を実施する予定です。対象者は会員（都道府県協会）、競技者、指導者、役職員などです。予定や内容・方法が決まりましたらホームページ上などで発表してゆきたいと思っております。内容については、以下のような項目からいくつかを解説してゆくこととなります。

1. 公益社団法人に関連する法規
2. スポーツ庁ガバナンスコードについて
3. 協会の各種規程について
4. 不適切な経理処理を始めとする不正行為の防止について
5. 代表選手選考の適切な実施について
6. 大会運営、強化活動における選手等の安全確保の徹底について
7. 不正行為の防止について（ドーピング等）
8. 人種、信条、性別、性的志向および性自認、社会的身分等に基づく差別の禁止について。
9. 暴力行為、セクハラ、パワハラについて
10. その他の違法行為について（未成年者の飲酒喫煙、違法賭博、交通違反・事故等）
11. SNS の適切な利用を含む交友関係（反社会勢力との交際問題を含む）、社会常識について
12. その他スポーツとコンプライアンスに関する話題など

#### ●ガバナンスコード審査について

JOA は本年度、スポーツ庁の「中央競技団体向けスポーツ団体ガバナンスコード」の適合審査を受けています。これは、2019年にスポーツ庁が制定したもので、13の原則、43の審査項目からなり、すべての項目に対して自己説明とその証憑書類の提出が求められます。

[スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け> \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)

年1回の自己説明と公表が求められ、JOA も昨年からホームページで公開しています。

<http://www.orienteering.or.jp/joa-about/governancecode/>

本年は4年に1回行われる適合審査の年にあたっており、先日スポーツ庁からのヒアリングを受けた上で書類を提出し、現在審査中です。

ヒアリングでは多くの不備な点が指摘され、その改善に向けての具体的な対策を講じてゆかなければなりません。上記で説明しました、「相談・通報窓口の設置」や、「コンプライアンスに関わる研修の実施」も必須項目ですので、その対応の一環です。またそのほかにもさまざまな規程を整備する必要があり、順次行ってゆく予定です。一例を挙げますと、日本代表選手の選考にあたっては従来強化委員会などが中心となって公正な選考が行われてきましたが、今後は、「選手選考規程」に基づいて、その選考の過程をさらに透明にすることや選手の権利保護に関する条項も明確にすることが求められています。

オリエンテーリング界においては過去に重大な不祥事の経験はありませんが、あらゆる不祥事をなくし、組織運営をしてゆく上での安定した基盤を構築することがこのガバナンスコード制定の理念であると思われまますので、今後しっかり対処してゆきたいと思っております。役員、会員、競技者の皆様にもご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ●新コーチ制度養成講習会開催（事務局：杉本）

公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）公認のコーチに、オリエンテーリングの指導者資格であるディレクター所持者が移行するための、初めての養成講習会を実施いたしました。講師を務めたのは世界選手権のコーチ経験も豊富な吉田勉氏と、日本選手権者であり世界選手権コーチディレクターの小泉成行氏です。

コーチ1養成講習会は8月8日（日）、代々木のオリンピック総合青少年センターで開催しました。初めての実施ということで、講師も受講生もややぎこちないところがありましたが、意見交換等も活発に行われ、充実した講習会になりました。

コーチ2養成講習会は9月20日（月・祝）、江東区文化センターでの開催。受講時間が8時間と長く、朝9時から夜7時までとかなり長時間の講習となりましたが、講師も受講生も疲れを見せず、集中して講習に取り組みました。

コロナ禍がおさまらず、どちらの講習会も緊急事態宣言下の開催となってしまったため、欠席者も多く出てしまいましたが、コーチ1は9名、コーチ2は11名の方が専門科目の講習を修了されました。これにコーチ2の専門科目を免除された4名を加えた方々が、来年10月には最初のオリエンテーリングコーチとして認定されることとなります。

来年1月16日には2回目のコーチ1養成講習会を開催することも決定しました。ディレクターからの移行を考えている方は、ぜひご受講ください。

現行のディレクター資格は、2023年度末まで、競技・指導、運営、普及のいずれかの資格に移行が可能です。コーチは競技・指導に特化した資格になりますので、運営指向の方はイベントアドバイザーや新たに設定される運営資格を取得する、初心者指導を目指す方は現行のインストラクターへ移行する等、今後の方針をご検討いただければと存じます。

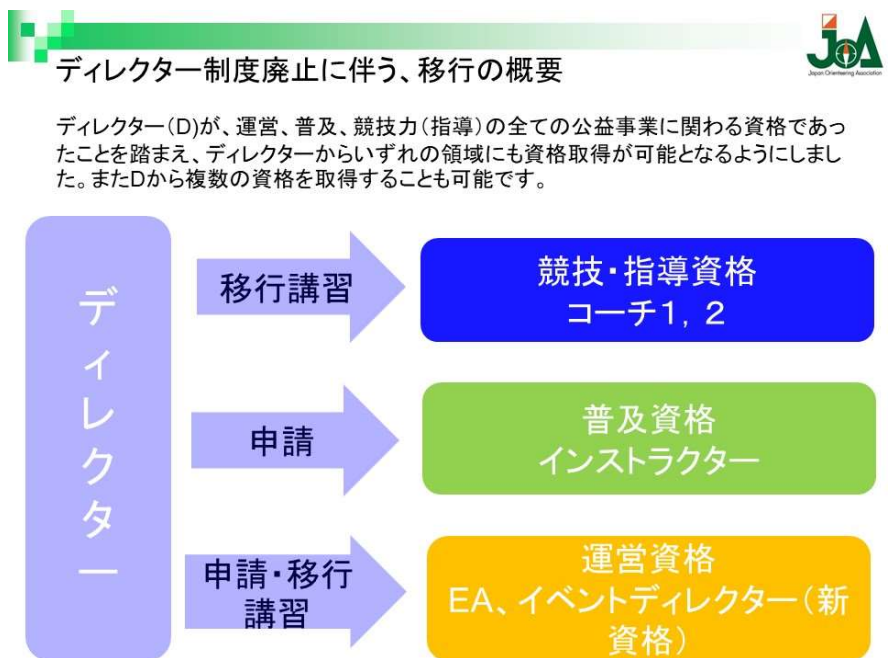
## ●新運営資格について（業務執行理事：村越）

本年度より、旧ディレクターから公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）公認の新コーチ制度への移行がスタートしたことはすでにお知らせした通りです。コーチ1、コーチ2とも移行講習も実施し、移行のプロセスがスタートしました（前記事参照）。

ディレクター資格は、元々運営・競技指導・普及を総合的に担う指導員として、旧 JOLC 時代から育成してきたものです。一方で、コーチは主として指導や競技力の向上を担う指導者です。この点を踏まえて、ディレクターからの移行に際しては、図のようにコーチだけでなく、運営資格、普及資格への移行を可能としました。

このうち運営に関する資格については、旧来イベントアドバイザー（EA）がありました。一方で、EAは、大会を外部的にいわば監査するという、かなり専門性の高い資格でした。それを考慮して、その下位資格であるイベントディレクター（ED）を創設しました。

EDは、競技規則を正確に理解し運営に当たれる指導者です。これまでも公認大会開催にあたってディレクターの資格保持者が必要である旨ルールにも記載されてきましたので、今後は、EDがスタッフに含まれることが公認大会開催の要件とな



ります（詳細な制度設計については本年中に公表予定です）。この資格は、現ディレクターの方には、手続きと移行講習（ウェブによる2時間程度の講習）で移行可能です。すでにEAをお持ちの方は、その下位資格となりますので、取得の必要はありません。また、移行講習によりEAへの移行も可能となります。

EDの創設により、指導者の資格は図のように、運営、競技指導、普及という3つの領域により構成されることになりました。ディレクターの方々がこれらの資格への移行により、今後もオリエンテーリングの普及・発展に活躍されることを期待しています。

●今後の公認大会・講習会のお知らせ（状況により変更の可能性があります。）

10月23日	第10回全日本ミドル大会	(長野県)
10月24日	第48回全日本ロング大会	(長野県)
11月6日	WMG2021 関西プレイベント 香美ミドル大会	(兵庫県)
11月7日	WMG2021 関西プレイベント 神河ロング/ミドル大会	(兵庫県)
11月28日	地形がわかる！迷わない！しっかりマスター地図読み術	(京都府)
12月18-19日	インストラクター養成講習会	(徳島県)
12月11日	ナビゲーション講習（ブロンズレベル）	(京都府)
12月19日	ナビゲーション講習（ブロンズレベル）	(愛知県)
<u>2022年</u>		
1月9日	第98回上尾OLC大会 in 古河公方[公認S]	(茨城県)
1月16日	コーチ1養成講習会	(東京都)

以上